

令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

静岡県		
学校名	管理機関名	設置者の別
静岡県立清水南高等学校中等部	静岡県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
http://www.shimizuminami.ed.jp/?page_id=39

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

項目	公表先
自己評価結果の公表 URL	http://www.shimizuminami.ed.jp/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E6%A6%82%E8%A6%81/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%87%AA%E5%B7%B1%E8%A9%95%E4%BE%A1/?action=common_download_main&upload_id=12734
学校関係者評価結果の公表 URL	http://www.shimizuminami.ed.jp/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E6%A6%82%E8%A6%81/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%87%AA%E5%B7%B1%E8%A9%95%E4%BE%A1/?action=common_download_main&upload_id=12698

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

特別の教育課程の実施状況や取組の様子等について、学校ウェブページ等を通じて、保護者及び地域住民に広く情報提供を行っている。また、清水南高等学校中等部

独自の教科「表現」で学んだことを生かし、文化祭では合唱を、表現発表会ではダンスやショークワイア、ミュージカル等の演目を披露している。文化祭は生徒と保護者、後援会や同窓会を対象に、表現発表会は保護者や後援会・同窓会を対象に、それぞれ公開した。公開に当たっては、例年、チラシ、ポスター、ウェブページを通じて広く広報し、開催している。

なお、受検生を対象とした学校説明会やオープンスクールにおいても、「表現」の授業や中等部生による学校紹介等を企画・実施している。

4. 実施の効果及び課題

清水南高等学校中等部においては、「富士の如く端正に 橘の如く香り高く」の校訓の下、「高い知性と豊かな感性・表現力を備えたグローバル人材の育成を目指す。」をスクール・ミッションに掲げている。令和5年度については、「学習指導要領に基づいた授業改善を進め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。」「中高6年間を見通したキャリア教育の充実を図る。」「自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育成する。」「学校行事、部活動等の充実を図るとともに、アカデミック・ハイスクールの取組を推進し、豊かな感性や表現力を育てる。」を重点目標として、日々の教育活動に取り組んできた。

令和5年度に掲げた重点目標のうち、「学校行事、部活動等の充実を図るとともに、アカデミック・ハイスクールの取組を推進し、豊かな感性や表現力を育てる。」ために、特別の教育課程において、独自の教科「表現」を設定している。その教科の目標として、「協調性、表現力、集中力が身に付けられるようにする。」を掲げて取り組み、約80%の生徒がその目標に到達することができたと評価した。そのため、特別の教育課程を編成したことが、生徒の成長に寄与していることが分かる。

今後もこの取組を継続していくために、授業計画や発表会の開催方法について検討していくことが必要であると考えている。また、今後は、中等部の「表現」と高校の「探究と表現」とが、より系統性をもった活動となるよう、取り組んでいきたいと考えている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

清水南高等学校中等部は、公立中高一貫教育校として6年間を通じて、今後も高い知性と豊かな感性・表現力を備えた、グローバル人材の育成に力を入れていく。そのために、特別の教育課程・独自の教科「表現」を通じて、自分と向き合い「新たな自分づくり」「積極的に関わり合い、友人との人間関係づくり」を学ぶ機会としての授業・活動につながるように努めていく。その一つとして、「静岡舞台芸術センターSPAC (SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER)」との連携・協力のもと、生徒がより興味・関心を高めた「表現」への取組を促していけるように計画を進めている。